主な機能別使い方(読む)

<u>1、読む</u>

A、読む手順(例:開目抄を読んでみる) B、本を読むように、御書を読む

C、御書資料(解題)を読む

<u>D、法華経を読む</u>

<u>E、御真蹟を拝す</u>

<u>F、本尊資料を読む</u>

G、頁に栞をはさむ(栞機能)

<u>2、調べる</u>

A、検索・絞込の基本操作	<u>B、目次から書名を探し出す</u>
<u>C、御書の一文を探し出す</u>	<u>D、御書の用語を調査する</u>
<u>E、御書資料(解題)を調べる</u>	<u>F、法華経の一文を探し出す</u>
<u>G、年表を調べる</u>	<u>H、西暦に換算する</u>
I、辞書を引く	<u>K、本尊資料を調べる</u>

【参考】検索と絞り込みは、どう違う?

<u>3、書き出す</u>

<u>A、(1)御書本文の書き出し</u>	<u>A、(2)書き出しデータの内容確認</u>
<u>A、(3)御書通読の書き出し</u>	
<u>B、御書資料(解題)の書き出し</u>	<u>C、法華経の書き出し</u>
<u>D、辞書の書き出し</u>	<u>E、システム説明の書き出し</u>
<u>F、表画面からの書き出し</u>	

▲<u>このページの先頭に戻る</u>

1、読む

御書システムは、その機能としてまず「読む」ということを目的に作られています。

御書の拝読にとどまらず、法華経、御真蹟を「読む」ことを考慮していますが、まずは開目抄を読むことを例にして説明します。

A、読む手順(例:開目抄を読んでみる)

*1772-				
0.御書目次	22日本(1月18日) 27日日 編集日 表示型 行所 部门 13日日 日日 (小学) 大岡	18日 入77日 2-14日 2647169 143718日 日本 日本 日	공동[법문이	
1.御書本文	■ ● ♥ eAO L#文 23 3004.5m	資料 2.通数 4237A0月 21歳号1月 21巻480月 1 C0月 22年春 24年表	1 <u>999</u> 10 99213 (04	20 股所年期(2)1日期(王) ★ 王 (2) ▲ 11:7113 土管:0746-10
2.御書資料	<u> 27.7/Wo</u> 雷号 20023 1-1720	御書名		F 計合表示時間 対告者
3.御書通読	20843 1-180 20843 1-180 20875 1-181 21417 1-1815	 C し C 支援事業 (1) シー尼都前都消息 摘号抄 /摘号抄 /摘号抄 /摘号抄 	2 建治01年05月25日 0 建治01年05月 0 建治01年	100-12 不明
4.法 華 経	21418 1-182 21448 1-183 21515 1-184	国府尼御前御書 三三載祈雨事 浄蓮冨御書	0 建治01年08月18日 0 建治01年08月22日 4 建治01年08月27日	国府尼御前 西山殿 浄蓮上人
<u>5</u> .年表西暦	21583 1-185 21605 1-186 21643 1-187	南条股御返事 大学三部股御書 高橋 天道股御返車	2 建治01年07月02日 0 建治01年07月02日 2 建治01年07月12日	南条時光 大学三郎 高橋六郎入道
6.辞書本尊	21736 1-188 21732 1-189 21747 1-190 21747 1-190	四來並合新御返事 高橋殿女房御返事(高橋殿御返事) 乙御前御消息 林心尼御前御道家	6 建治01年07月22日 4 建治01年07月26日 6 建治01年08月04日 2 建治01年08月16日	 回染金合 高橋六印入道要 乙都前母尼 (斎橋六印入道要)
2.位置検索	21844 1-192 21853 1-193 21878 1-194	シートにおれ #88年 単心尼都前都返事 単衣抄 阿仏房尼御前御返事	4 建治01年08月25日 6 建治01年08月 6 建治01年08月 6 建治02年09月03日	 3.5.1.2.1.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2
8.用語調査	21905 1-195 21919 1-196	御衣並果衣御書 蒙古使御書	0 文永07年09月28日 6 建治01年09月	(富木常忍) 西山殿
E.システム説明	° ∧ ° n∓		a a %-1, a	2 10 2 10 162.8 10 ASR 10 Dec 1
Z.終了	LATING			

メインメニュー(左)で「御書目次」をクリックすると表示される「御書目次」フォーム

御書システムを初めて使う方が、当システムで、これから「開目抄」を読むことを例に説明を進めます。 その手順は、以下のようになります。

①【「御書目次」フォームを開く】「メインメニュー」から ②【御書名の検索】「御書目次」フォーム画面で「開目抄」を探しますが、すぐに見つからないときは以下のようにし

て探します。

 「御書名」と書かれた項目名をクリックします。カーソルが一番上にありますから、
 ブボタンをクリックしてカー ソルを下に移動させて探します。(↓キーのクリックでも同じ。

	御書	E	目次 👫	■ 対告表示切替
システムNo 番号	御 書 名	C	AD 系 年 ED	対告者
19462 1-163	可延定栗御書	0	文永12年02月07日	富木尼御前
14610 1-046b	嘉祥寺御書	2	文永07年	豆子尼御前
25734 1-286	華果成就御書	6	弘安01年04月	浄顕房·義浄房
99080 対石-39	華厳経等要文	1		
39858 3-032	草厳法相三論天台等元祖事	0	文永09年頃	不明

「御書名」をクリックしたあと、カーソルを下に移動して探す

2. 中央部上の方にある入力枠に「開目抄」とキー入力して^{90検索}ボタンをクリックします。これでただちに探せま す。

システム順	5番号順	<u>6</u> 書名順	<u>7</u> C順	<u>8</u> 検索	ĮQ,	ÎQ,	<u>9</u> 絞込	0解除	<u>B</u> 系
₹			開	目抄				•	1
		御	土	В	<u>ل</u> م		0 ti	対告	



2、入力枠に「開目抄」とキー入力して、検索ボタンをクリックする 3、右側のスクロールバーを移動させて探す

3. フォーム画面の一番右にあるスクロールバーを移動させて探します。(スクロールバーにマウスの矢印を合わせて、マウスの左ボタンを押しながら下げると、データが繰り上がって探せます)

③【御書通読フォームで読む】カーソルを「開目抄」に合わせて、^{3通読}ボタンをクリックすると、「御書通読」フォームの「開目抄」に移ります。



「御書通読」フォーム

④【頁をめくる】 【本本ボタンをクリックして頁を前後にめくって読んでいきます。

⑤【読み終えたら】読み終わったら ^{レイン}ボタンをクリックして「メインメニュー」に戻り、 2.終了「終了」ボタンを クリックしてシステムを終了させます。

⑥【次回の起動は続きから】次回は、「メインメニュー」からただちに^{3. 御書通読}をクリックするだけで、前回の続きから読むことができます。

以上、「開目抄」を例に、本のように御書を読む一例を示しました。

加えて、当システムでは、読む方の利便性を考慮して、読みながら引ける辞書や年表も、また御書の解題も用意しています。

さらに、御書に引用の法華経の当該部分にただちに進んだり、「御書本文」のデータに進んでいろいろな検索もでき ます。また御真蹟が現存する御書では、その御真蹟を拝見することもできます(御真蹟写真が組み込まれている場 合)。いろいろなご利用法をお試しください。 B、御書を本を読むように読む

▲<u>このページの先頭に戻る</u>

【「御書通読」フォームを開く】

通常の本の御書を読むように読みたいときは、「メインメニュー」から 3. 御書通読 をクリックします。前回読み終え た頁が表示されていますので、続きから読めます。

【頁をめくる】

頁をめくるときは、上部ボタン列の右方にある

をクリックするか、

<br

【表示御書を切り替える】

表示の御書は、[システム版御書](読み下しの御書)と[原型活用](漢文などは漢文のままの御書)を^{切巻}のクリックで交 互に切り替えることができます。



「システム版御書」で表示された「御書通読」フォーム、切替をクリックすれば、「原型活用」に切り替わる。

【縦横の表示を切り替える】

縦書き表示と横書き表示を交互に切り替えることもできます。(上部ボタン列の左から3番目の 🏂をクリック)



横書き表示の「御書通読」画面

【辞書を引く】

読んでいて意味の分からない語句に出会ったら、そこをドラッグ入力して^{6辞書}をクリックしますと、辞書が引けます。



調べたい語句をドラッグして、
6辞書
をクリックすると辞書の当該部分が開く

【行単位で読む】

「御書通読」の他に「御書本文」でも行単位で御書が読めます。

	т <u>а</u> р ^ - коли
23 24 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25	1
実一切衆生ノ尊敬スへキ者三アリ所調主 / 郁観基也(コパリ)又哲学スへキ物三アリ所留陽外内 / 基也(コパ ド マ *	(Y)
下の31はその 認当時性を対 ったすにはなり の内容を交互に 様えられます 研	

御書本文フォームでは、行単位で読むことができます

【現代語訳を読む】

御書の現代語訳を読むことができます。「現代語訳」(「御書本文」2)フォームは、「御書本文」フォームとの切り替えで表示されます。左上のをクリックすると、それぞれのフォームが交互に表示されます。

\$ 9 %	18 230	1日次 2海村 2通統	2 宗师3 2 宗王 吉祥3 李祥3 李祥3		1888 X ¥ + X 📽
unare.		○ 網羅比較		1 <u>1</u> 11	2321 /32321 並曾:9334%6.順
1-098		開目抄	3		文永09年02月
92918o.	15961	定本 535.08	新定 758.14 全集 188.04	新編 523.15 新修	集成
夫材 師・親 ・内こ	1一切衆! これなり れなり。	生の尊敬すべき 。又習学すべ	き者三つあり。所謂 主・ き物三あり。所謂 儒・外	大殺猿の	
				別用作	
現代語訳	章 徳 もそも、 シ三徳であ >る。	教と外道と仏教 生きとし生ける(る。また、かな)	者がかならず尊重しなければな らず学ばなければならない教え	らないものが三つある。 が三つある。それは儀器	それは主徳と師徳と親徳 (と外道と内道たる仏教で
大学語で					

御書本文フォーム画面から、 🚈 をクリックして表示された現代語訳フォーム画面

更にいろいろな機能がありますから、徐々に慣れてください。

▲<u>このページの先頭に戻る</u>

C、御書資料(解題)を読む

▲<u>このページの先頭に戻る</u>

ーつひとつの御書の解説や要旨を読むことができます。さらに、その御書が宗祖の滅後にどのように伝わってきた かなども分かります。

文水09年02月 たかわちくしょう 12224 51 歳 1212 1216 1216 1216 1217 1216 1218 1216 1219 1216 1216 1216 1217 1216 1218 1216 1219 1216 1210 1221 1211 1216 1211 1217 1211 1217 1211 1217 1211 1217 1211 1217 1211 1217 1211 1217 1211 1216 <tr< td=""><td>市会通知 日本通知5 133 市台市 市台 市台 市台</td></tr<>	市会通知 日本通知5 133 市台市 市台 市台 市台

御書の解説や要旨を読むことができる「御書資料」画面。検索・絞り込みもできる

【「御書資料」フォームを開く】



御書名を入力後、世検索をクリックする

【別のフォームから御書資料を読むには】

このほか、御書目次フォーム、御書本文フォーム、御書通読フォームからも、各フォームの上段にある^{2資料}をクリ ックすれば、現在表示されている御書の御書資料を読むことができます。

【各備考欄を拡大表示する】

🔁 副 - 1 與各選和129 - A1 💼 💽	X
37462 編集団 表示の 作物作の 入力は 5~40 ういうゆ 407回	
副しる日本の大物の1~ は出現れた男子留口はひ	
C V V V V V V V V V V V V V V V V V V V	
1-024 文式(2)(1212) (水式(2)(1212) (水式(2)(1212)) (水式(2)(1212)) (米文)(1212) (米文)(1212)	
文応01年 9303300000000 2000 1000000 1000000 1000000 100000000	
1211年 39 統 (単元次本) は金融役員主義の法律の意志と同志を用いたを用いた。	
金本油文 文化14 15世纪4 15世纪41 华汉器组织的学文发展,前者很文本14 名	
月野銀 文永秋年 、後期は進行年の難知のため、むは進治2年以降、それらそ村紙 響	
新聞の時、文化しは年 の一部として書本したもの(「日本とその松田」第4集所収「日田」」」 優秀の「文化は未見」(「北本3 4470)に「文式元本」	
最明寺入道二北茶 どその竹肉(雪木豊雄)。後にの菊間風火ちで敷目内水水、サー 名 明人、ロースは文大元本ス施展中と日本5日5以7部 の時にした東に開発した。 シスト	
())第一 単位にからないののかか、も生活の時にはためからかかののなか。 すべたがすいまたとしたがないのではないのです。 などかすいまたまたけられたことがながれる。	
36714m, 12485 本(注意4年本・自私に本当)、金子部県中市法常統有動目活写本 自 石田県賞1 に「魚類専人道殺二郎シをしり。」と	
<u>「日本相次」 205.00</u> がある。この内、小日常本学日務本2本を扱合し技具を「町本指考」 (1)	
1000122、10001 明治は間のみまだいと、他し手がにある4000度が1時間と加速の 。 約11-1-758方(他し加二十回時以次に、中山十回 前側全境 10.01 も.e. おますのからいたいのからのであったが自然と加速の 。 約11-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	
# 15 10.00 St. 1900 Hadden Honoraction - 1900 - 190	
林 21 キ (T22) 正月廿五日至1月19日2月19日1日十二十百月30(21)、百円4 男	
新福田時 234.04 奥に 1人造股其後越九个年支水五年五月大营占属使完财五五 貞和 茶	
1983年後 11-03 五年(己語)5月十三日約五十二万上町県水口日沿五十四時月書 王 中央和に歴大高市中	
1998年 2112-08 第21 00月169月, 第21 0月1日月の回路「路田四日九月七日時」里	
1413 1-1 万市中の英語4年(0359)に日時が留方したもの、103(計・日度2)	
文段 5 人の世界』100首に登現他の写真認知あり。 星	-1
n and he was been a second second because he was he was he was he was he was he was he	
A Dit [2]→ (10Å 5×150] ダ×07 00案 ワレア 後級久 総あり 摺木田 20×1	
[2]-6485	

各備考欄をクリックすると一時的に拡大表示される。

スクロールバーをスライドさせる

【表示されていない解説を見る】

解説文が長くて読み切れないときは、画面右端から2番目のスクロールバーをスライドさせるか、灰色の余白の部 分をクリックします。

【縦書きフォームで各備考欄を見る】

縦書きフォームの場合は[x各備考]ボタンをクリックします。

◎ 新一丁甲香菜和10x~42 >> (45) (第四) (10) (10) (10) (10) (10) (10) (10) (10	n Azabeta (1710)		
からい (10) (10) (10) (10) (10) (10) (10) (10)	1.500.00 97881016	0	
A 3 4 12 10 12 12 10 12 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	ATTES TO BERT TOTAL BUT DE	94912 0.8772 .455	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	and and and its million its in	1 5 . DIS/1	113
1-024 立正安田論	0 2588	24 35788 45 11	169 # 0 198
新北 文庫加井	定本准定 文公01年 対陸13 文:	\$060: \$535403; \$12013; [50 M2 (XX)
21 合 最明华入道=北条时赖	-Fen	4-1 BRIN 1-1	文(2 5
937486. 12435 芝木道文 200 新元初書 367	03 植彩脸文 373-04 舒 内 03 東田全地 17-04 段 外	101.02 新編胡書 234.04 平成新聞 77.03	919793 1217.05 5783918 2007.01
4.05年には、市場管理に下かれるなく、東京協力ともっ、本 のを完か削っ、主人は自身も実行したが、しかしなから上安かし、 、主人の手様を見げ設計した客か、しかしなから上安かし、 、主人の手様を見げ設計した客か、しかしなから上安かし、 、主人の手様を見げ設計した客か、しかしなから上安の加 はないのかよらのの問いにだけし、手人は感らけ「火の健実 を完たす、市材に関連した客か、しかしなから上安の加 はないのかようなの説がでした。したしなから上安の加 はないのかようなの説がでした。したしなから上安の加 はないのかようなの説がでした。したしなから上安の加 はないのかようなの説がでした。したしなから上安の加 に、主人は自身も見たりとも、もたいなから上安の加 に、主人は自身も見たりとも、もたいなから上安の加 に、主人は自身も見たりとも、もたいなから上安の加 にないのかようなの説がでした。したしなから上安の加 にないのからようない、浄土戦部前の先間 になったいたけ、ためなられたいのではない。 からまたがありまた。 しからないかられたいのからしなのの にの したがりたいたいたかられたい。 とのかられたいためからした。 のの前の、ことからないかした。 のの前の、ことからないからし、 のの前の、 したの方がありたいのかられたい。 とのかられたいためからしたいのの前の にためしためため、 とのかられたいのかられたいのからしため、 のかられたいろいたい。 とのかられたいためかられたい。 、 のかられたいためからしたいのではない。 、 のかられたいろいたいためからしたい。 、 のかられたいろいたいためからしたい。 、 のかられたいろいろいたいかられたいのかられたいの にのかられたいろいろうたい。 、 のかられたいろいたいためかられたいのでは、 のかられたいろいたいかられたい 、 りたいのからの に、 のかりたいろいかしたい 、 りたいためからしたの に、 のかたいろいたい 、 りたいかいろいろい にのかられたい のかられための に、 のかりたい 、 のか したいたいろい に 、 のかられたいろい に 、 のかりたい 、 、 のかられための 、 のかりたい のかられたい 、 、 うたい のから 、 、 うたいのか 、 、 うたで 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	への人の思う、主人は言語の「現状化」とも認知の相応である。 下したが、それれにそっ人能力が起きての利用である。 下したが、の人のになり、主人は「たい」になったが、 いのけなぜからの内いに対し、主人は甘加工に含またに対して いのけなぜからの内いに対し、主人は甘加工に含またに対して いのけなぜからのから内い、主人は「たい」であるかに見 ってたいない、なからのたちのというないであったよう では、笑からのように対しておいてないであるかに見 ったいうのから内い、工人は「日本の解説であるかに見 ったいうのから内い、工人は「日本の解説であるかに見 ったいうのからればい、主人は「日本の解説であるか」 にしたい。 では、笑からのように対しておいてないであるかに見 ったいうのかられば、「ない」のなく示す。 またい でしたいであるように対しておいてあるか」と、 でしたいであるからればないであるか。 に見たい、 であるいうのかられば、「ない」であるか。 に見たい」、 「本人は言語の「現状化」」とないであるか。 に見たいであるか。 「日本のかられば、」、 「ない」、 「ない」、 「ない」」、 「ない」」、 「ない」」、 「ない」」、 「ない」」、 「ない」」、 「ない」」、 「ない」」、 「ない」」、 「ない」、 「ない」」、 「ない」」、 「ない」」、 「ない」、 「ない」、 「ない」」、 「ない」」、 「ない」」、 「ない」」、 「ない」」、 「ない」」、 「ない」、 「ない」、 「ない」」、 「ない」」、 「ない」」、 「ない」、 「ない」」、 「ない」」、 「ない」」、 「ない」、 「」、 「ない」、 「ない」、 「ない」、 「ない」、 「ない」、 「ない」、 「ない」、 「ない」、 「ない」、 「ない」、 「ない」、 「」、 「ない」、 「ない」、 「ない」、 「ない」、 「ない」、 「ない」、 「ない」、 「ない」、 「ない」、 「ない」、 「ない」、 「ない」、 「ない」、 「」、 「ない」、 「ない」、 「ない」、 「ない」、 「ない」、 「ない」、 「ない」、 「ない」、 「ない」、 「ない」、 「ない」、 「ない」、 「ない」、 「ない」」、 「ない」」、 「ない」、 「ない」、 「ない」」 「ない」、 「ない」、 「ない」」、 「ない」、 「ない」、 「ない」」、 「ない」、 「」、 「」、 「ない」」、 「ない」、 「ない」、 「ない」」、 「ない」」 「ない」」、 「ない」、 「」、 「ない」」、 「ない」」、 「ない」、 「ない」」、 「」、 「」、 「」、 「」、 「」、 「」」、 「」、 「」、 「」」、 「」、 「	そのものではないものの、お次のを読んもって起められて (気気や雪が)、「日気末」(点形式が雪か)、「日気末」 (気気や雪か)、「日気末」(二素も中に「一気の雪か」、「日気末」 (気気や雪か)、「日気末」(二素も中に「一気の雪か」、 して気をすか)、「日気末」(二素も中に「一気の雪か」、 して気やすか)、「日気末」(二素も中に「一気の の、なあ、「日気末」(二素も中に「一気の の、なる、「日気末」(二素も中に「一気の の」、他心(1)、」とあり、日気が中的のことが、そのは かけためである。 、またし、「日気」、「したの」、「気気の したのではないものの」といわれるように、美奈心の原則に またりに知らり、「日気」」(二気から、「気気の したか」 (二気の)、(二気、「したの」、「したか」」)、 「したか」」」とあり、「日気がよい」。 「したか」」」、 「したか」」」とあり、「日気がよい」、 「したか」」」、 「したか」」」とあり、「日気がよい」」、 「したか」」、 「」、 「」」、 「したか」」、 「」」、 「」」、 「」、 「」、 「」、 「」、 「」、 「」、 「」	
A 10E 📴 (102)	731'90 7 740' (* 103 (* 1	ットア 🕛 当時文 🏪 殺込み 🔛	All the L
LO-PEIRIOL#3		—16.90 ⁴	PUN L TAL

縦書きフォームの場合は、[x各備考]ボタンをクリックする

※御書資料フォームには、以下のような項目があります。

【御書資料の主な項目について】

- 1. [書名]: 概ね従来の書名を尊重しましたが本文内容と符合しないものなどは改めました。その場合旧名は括弧 で括って残してあります。主な異称はトグルボタンのチェックで「よみ」欄を切り替えて表示できます。
- 2. [C]: [書名]欄の隣の数字が[C]の値です。下段に説明しています。
- 3. [系年]: 従来の説を改めた場合は[系年備考]欄に理由を明記してあります。

- 4. [対告]: 従来の説を改めた場合は[対告備考]欄に理由を明記してあります。
- 5. [講義録の頁数]:「平講」(日蓮聖人遺文全集講義29巻 同刊行会。当システムでは初版本の頁数を記してい ます))、「龍講」(日蓮聖人御遺文講義19巻 日蓮聖人遺文研究会)、「文段」(日寛上人文段集聖教新聞社)
- 6. [解題]: その御書の全般にわたって最新の研究成果も取り入れて検討し、新たな解釈などを意欲的に盛り込んだ内容になっています。
- 7. 各[備考]: 名称は備考ですが各御書の資料データそのもので、充実した内容になっています。

【[C]について】

[C]とは、[class (部類)]のことで、その頭文字を取って、御書を真蹟・写本の存否、内容の種別、システムの必要 性等の理由から10に分類したものです。「御書本文」「御書通読」の各行にも付してあります。

- C=0 真蹟が完全若しくはほぼ完全な形で現存し、活字御書と対応するもの。17.6%
- C=1 真蹟が断簡で現存し、活字御書の断簡と対応するもの。5.2%
- C=2 真蹟の断片が現存し、活字御書の一部分と対応するもの。11.6%
- C=3 真蹟が明治8年の火災まで身延山久遠寺に存在していたもの。10.0%
- C=4 真蹟は現存しないが日興書写本の現存するもの。4.5 % 以上 48.9 %
- C=5 日興上人以外の上代諸師の古写本の現存するもの。3.2 %
- C=6 上記の0~5と下記の7~9以外の全てのもの。31.3 %
- C=7 御義口伝と御講聞書。6.2 %
- C=8 富士門流の相伝書類。1.5 %
- C=9 偽書と云われるもの。(昭和定本第三巻の第二輯続篇分) 8.9 % 以上 51.1 %

右端の数字は、その C の御書が御書全体に占める割合を[システム版御書]の文字数によって表したものです。

▲<u>このページの先頭に戻る</u>

D、法華経を読む

▲<u>このページの先頭に戻る</u>

【「法華経」フォームを開く】

通常の経本を読むように読みたいときは、「メインメニュー」から4.法華経 をクリックします。前回読み終えた頁 が表示されていますので、続きから読めます。



【頁をめくる】

頁をめくるときは、上部ボタン列の右方にある 🔽 📥 をクリックするか、 🖭 🔤 をクリックします。

【縦横の表示を切り替える】

縦書き表示と横書き表示を交互に切り替えることができます。(上部ボタン列の左から3番目の 🌋をクリック)



横書きへ切り替えた法華経通読フォーム

【辞書を引く】

読んでいて意味の分からない語句に出会ったら、そこをドラッグ入力して^{65字書}をクリックすると、辞書が引けます。



【行単位で読む】

上部ボタン列の 4法華 をクリックすると、法華経の検索が容易にできる画面に移ります。そこでも行単位で法華経が 読めます。

24 - 「法務任」24- 24 (43) - 開始に - 85	-6	
#D = 4 8	@ X 16 16 0 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16	· 방 양 IP M ()
69 8	EMD [1本文] 经济特 2通路 多法带 5年表 [5年表] 2有出	E8428 K7 14 2003 11100
活動機能 活動機 1877 1940	如来对盘品第十六	2011 2011 2011 2011 2011 2011 2013 2013
A V	74 IR	UI UL
Ho- 1076 1035 MBS 494,12		k)dagmeta-ëghtat
Ho- 1077 1035 42a.20 MBS 455.01	妙法運車提加來調整品幣十六	六十部品證模果或與單語的十六
Ho- 1070 1085 426-01 MBS 455-04	即時期出請若違及一切大衆精養男子 按等篇 情報如求法決之语	間の時には、動の筆環、及び一切の大衆に咎けたわく、精の厳男子、 後挙当に対果の時時の消を保解すべし。
Ho- 1079 0035 426.00 MBS 455.00	视出大张 故等篇信解如來說歸之歸 又復也離 大梁 故等篇信解如來說歸之語	− − − − − − − − − −
Ho- 1800 8035 425-04 MBS 495-10	是時祥磁大於 潮動為百合葉白佛書 世尊 地 難決之 很等當信愛佛語	見の時に祥徳大泉、弥特を首と効して、合葉して仏に自して含さく、は 夏、陰振り(は之を説きたまえ、我等当に、仏の語を信受したてよっも べし。
¹¹ A 21-4編集		2

行単位で読む「法華経」フォーム。検索・絞り込みが容易にできる

更にいろいろな機能がありますから、徐々に慣れてください。

▲<u>このページの先頭に戻る</u>

当システムの誇れる機能の一つに、御真蹟の現存する御書は、直ちにその箇所を御真蹟写真で拝見できる機能が あります。

(残念ながら、今のところどこからも、御真蹟写真のデジタルファイル化されたものが製品として提供されていません から、御真蹟を拝見できる機能は使えませんが、法蔵館版の「御真蹟集成」の所持者であれば、自分専用として御真 蹟写真をデジタルファイル化して、システム上で真蹟を拝見することができます。詳しい方法は、「御書システムの使 い方」→「便利な使い方」→「真蹟画像の表示方法」をご参照ください)

【御真蹟を表示する】

御真蹟の表示は、[御書本文]・[御書通読]の各フォームでできます。いずれのフォームからも上部右側の^{ェ真蹟}をク リックすると、御真蹟が表示されます。(御真蹟がない箇所では、ボタンの表示が^{ェ真蹟}となっており、表示されませ ん)



×真間 をクリックすると、御真蹟がある場合に表示されます。

【御真蹟を拡大して見る】

御真蹟は画像を拡大することができます。拡大して見るときは、 ^{d拡大}をクリックすると、画像が拡大表示されます。 元のサイズに戻すときは、上部右側の ^いをクリックします。



【元のフォーム位置に戻る】

御真蹟を拝見した後、元のフォーム位置に戻るときは、 September 2015 (1995) 御書 本文]・[御書通読]の各フォームを閉帳して、1つ前のフォームに戻りますので、ご注意下さい。

【真蹟直読(解読文)の表示位置を変えたり、非表示にする】

[真蹟画像]表示スペースの[真蹟直読](解読文)表示の位置を変えたり、非表示にするには、キーボードの を押すことによって変更できます。

▲<u>このページの先頭に戻る</u>

F、本尊資料を読む

▲このページの先頭に戻る

宗祖の真蹟のほか、模写と曾存の記録のあるもの等、漫荼羅本尊に関する資料はすべて収録してあります。

【「本尊資料」フォームを開く】

本尊資料を読むには、メインメニューの 6.辞書 や をクリックして[本尊資料]フォームに移動し、入力枠に読みた い本尊の「本尊No.」「系年」「対告者」「所蔵」「脇書」(その他融通の利く検索が可能)等を入力して ^{B検索}をクリックす れば、読みたい本尊資料が表示されます。

また、年表フォームで本尊関連項目にカーソルがあり、^{2本尊}が明示されているとき(2455のときは不可)は、直接 カーソル位置の本尊資料に移動して読むことができます。

COLOR DE LOS DE	Eas Fascilines Fas	224 24-0 B	
1915			■ ■ 1101100120人 11012120
8期6.	132	脂肪	认安三年太才庚辰五月十八日 / 沙門B命授与之
出典(福号・)町)	日亨本專鑑29(20)		
191	874	101×	
5 7U	82/8°	1	Rinkana
術	弘安13年05月18日		
99	1200		
(与者	沙門·日命	E29MBUT	化油水泡二水二水二十 人名尔卡隆 人名印刷波马森 人名约夫 人名德莱
141	身建常存	COMMUN.	
[法(史×編)	116.5×60.6 cm		
520		参考資料	* 『日李本尊録』 59頁。*『日蓮堂人真師の世界(上)』 265頁。
Alti			
un]		LW OF	
		11.2	* 107-751#101#32#1 <1410*

本尊の諸データを読むことができる[本尊資料]フォーム。検索・絞り込みもできる

【[本尊資料]の主な項目】

[本尊資料]フォームには、本尊の解題として以下のような項目が用意されています。

[本尊No.][出典(番号・頁)][書顕][形態][系年][西暦][授与者][所蔵][寸法(丈×幅)] [紙][通称][脇書][讃文][図顕讃文][参考資料][備考]

▲<u>このページの先頭に戻る</u>

G、頁に栞をはさむ(栞機能)

▲<u>このページの先頭に戻る</u>

本に栞を挟むように、フォーム画面の頁に<mark>▶</mark>をつけ、それを手掛かりに後からその頁を探す機能です。慣れると大 変に便利です。

【▶の付け方】

を付けたいときは、何もキー入力・ドラッグ入力してない状態で^{9款込}をクリックする。



【 とを付けたところを検索・絞り込みする】

▶を付けたところを検索・絞り込みするには、まず ♀ ● なの間にカーソルを合わせて(どこかに [▶]がついていれば赤くなる、赤くならなければ検索・絞り込みはできない)、次いで ^{●検索}・ ^{● 検}示タンをクリックする。表示画面の次や前を検索するときは ♀ な をクリックする。





【栞機能をリセットする】

栞機能に異常を感じたら、 ^{●メイン}をクリックして一度[メインメニュー]に戻り、最上の ^{メインメニュー}クリック、メンテナンス画面に移動して 1. 正常化 をクリックして行います。これで正常化されます。



調べる_____